

食品安全委員会の運営について（平成26年7月～9月）

1. 食品安全委員会の開催

7月：第520回～第524回

（1）食品健康影響評価の要請案件

農薬（4品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・1-ナフタレン酢酸 ・アシベンゾラル-S-メチル ・アセタミプリド ・メソトリオン
動物用医薬品（4品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・セフトオフル ・セフトオフルを有効成分とする牛の注射剤（エクセーデC） ・セフトオフルを有効成分とする豚の注射剤（エクセーデS） ・塩酸セフトオフルを有効成分とする牛及び豚の注射剤（エクセネルRTU）
微生物・ウイルス （1案件）	<ul style="list-style-type: none"> ・食肉製品の規格基準のうちサルモネラ属菌の定義について

（2）食品健康影響評価の結果通知案件

農薬（2品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・ジクロベニル <u>ADIを0.01 mg/kg 体重/日と設定。</u> ・MCPA <u>ADIを0.0019 mg/kg 体重/日と設定。</u>
動物用医薬品（4品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・クロルプロマジン <u>遺伝毒性を有する可能性は否定できず、及び発がん性を有する可能性は判断できず、ADIを設定すべきでない。</u> ・ガミスロマイシン <u>ADIを0.01 mg/kg 体重/日と設定。</u> ・ガミスロマイシンを有効成分とする牛の注射剤（ザクトラン） <u>本製剤が適切に使用される限りにおいては、食品を通じてヒトの健康に影響を与える可能性は無視できると考えられる。</u> ・ロニダゾール <u>遺伝毒性を判断できず、発がん性が示唆されたことから、ADIを設定すべきでない</u>と判断した。
微生物・ウイルス （1案件）	<ul style="list-style-type: none"> ・食肉製品の規格基準のうちサルモネラ属菌の定義について <u>食品衛生法の規定に基づく食肉製品の基準のうちサルモネラ属菌の定義を改正することについては、現行の定義よりもサルモネラ属菌の定義の範囲が広がることにより、サルモネラ属菌による食中毒の発生防止がより図られるものであり、食肉製品の摂取によ</u>

	<p><u>る人の健康へのリスクが低減され则认为られ、食品安全基本法第11条第1項第2号の人の健康に及ぼす悪影響の内容及び程度が明らかであるときに該当。</u></p>
かび毒・自然毒等 (1品目)	<ul style="list-style-type: none"> ・二枚貝中のオカダ酸群 オカダ酸群のARfDを0.3μgオカダ酸当量/kg 体重と設定。
遺伝子組換え食品等 (1品目)	<ul style="list-style-type: none"> ・ステアリドン酸産生ダイズMON87769系統 <u>「遺伝子組換え飼料及び飼料添加物の安全性評価の考え方」に基づき評価した結果、改めて「遺伝子組換え食品（種子植物）の安全性評価基準」に準じて安全性評価を行う必要はなく、当該飼料を摂取した家畜に由来する畜産物について安全上の問題はないと判断。</u>
対象外物質（1品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・カルシフェロール及び25-ヒドロキシコレカルシフェロール <u>動物用医薬品及び飼料添加物として通常使用される限りにおいて、食品に残留することにより人の健康を損なうおそれのないことが明らかであるものであると考えられる。</u>

(3) その他

- ・平成25年食中毒発生状況の概要について厚生労働省から報告
- ・食品安全関係情報（6月7日～6月20日収集分、6月21日～7月4日収集分）について報告
- ・平成23年7月21日付けの食品安全委員会決定「遺伝子組換え植物の掛け合わせ品種の取扱いについて」を廃止することを決定
- ・「食の安全ダイヤル」に寄せられた質問等（平成26年6月分）について報告
- ・食品健康影響評価の結果に基づく施策の実施状況の調査結果について説明（第19回：平成25年9月末時点）

8月：第525回～第527回

(1) 食品健康影響評価の要請案件等

化学物質・汚染物質 (1案件)	・水道により供給される水の水質基準の設定について (ジクロロ酢酸及びトリクロロ酢酸)
遺伝子組換え食品等 (1品目)	・チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性ダイズ81419 系統

(2) 食品健康影響評価の結果通知案件等

添加物 (1品目)	・2,3-ジエチルピラジン <u>食品の着香の目的で使用する場合、安全性に懸念がない。</u>
農薬及び動物用医薬品 (1品目)	・ダイアジノン <u>ADIを0.001 mg/kg 体重/日と設定。</u>
動物用医薬品及び飼料添 加物 (1品目)	・ラサロシド <u>ADIを0.005 mg/kg 体重/日と設定。</u>

(3) その他

- ・平成25年度終了食品健康影響評価技術研究課題の事後評価結果を決定
- ・平成26年度食品健康影響評価技術研究の追加採択課題を決定
- ・食品安全関係情報(7月5日～7月18日収集分)について報告
- ・「食の安全ダイヤル」に寄せられた質問等(平成26年7月分)について報告
- ・食品安全モニター課題報告「食品安全委員会から入手した情報の利用等について」(平成26年2月実施)の結果について報告
- ・食品安全モニターからの随時報告(平成25年4月～26年3月分)について報告
- ・フランス産牛肉の混載事例について報告

9月：第528回～第531回

(1) 食品健康影響評価の要請案件

添加物（1品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・ケイ酸カルシウム
農薬（5品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・ジフェノコナゾール ・フルオキサストロビン ・フルキサピロキサド ・メトラフェノン ・ピラゾリネート
動物用医薬品（3品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・ロメフロキサシン ・ケトプロフェン ・ケトプロフェンを有効成分とする豚の注射剤（ディニタル）
微生物・ウイルス（1案件）	<ul style="list-style-type: none"> ・豚の食肉の生食に係る規格基準の設定について
プリオン（2案件）	<ul style="list-style-type: none"> ・牛海綿状脳症（BSE）対策におけるゼラチン等に係る規制の見直しについて ・牛肉骨粉等の養魚用飼料としての利用について
遺伝子組換え食品等（1品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・ステアリドン酸産生ダイズMON87769系統及び除草剤グリホサート耐性ダイズMON89788系統を掛け合わせた品種

(2) 食品健康影響評価の結果通知案件

遺伝子組換え食品等（2品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・除草剤アリルオキシアルカノエート系及びグルホシネート耐性ダイズ68416系統（食品） <u>「遺伝子組換え食品（種子植物）の安全性評価基準」に基づき評価した結果、ヒトの健康を損なうおそれはないと判断。</u> ・除草剤アリルオキシアルカノエート系及びグルホシネート耐性ダイズ68416系統（飼料） <u>「遺伝子組換え飼料及び飼料添加物の安全性評価の考え方」に基づき評価した結果、改めて「遺伝子組換え食品（種子植物）の安全性評価基準」に準じて安全性評価を行う必要はなく、当該飼料を摂取した家畜に由来する畜産物について安全上の問題はないと判断。</u>
薬剤耐性菌（1品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・ガミスロマイシンを有効成分とする牛の注射剤（ザクトラン）の承認に係る薬剤耐性菌 <u>評価対象動物用医薬品である、ガミスロマイシンを有効成分とする牛の注射剤（ザクトラン）が、牛に使用された結果としてハザードが選択され、牛由来の畜産食品を介してヒトがハザードに暴露され、ヒト用抗菌性物質による治療効果が減弱又は喪失する可能性は否定できないが、リスクの程度は低度であると考えた。</u>

(3) その他

- 平成26年度食品健康影響評価技術研究の3次公募採択課題を決定
- 食品安全確保総合調査及び食品健康影響評価技術研究の優先実施課題（平成27年度）を決定
- 食品安全関係情報（7月19日～8月15日収集分・8月16日～8月29日収集分）について報告
- 「食の安全ダイヤル」に寄せられた質問等（平成26年8月分）について報告
- 米国、カナダ、フランス、オランダにおける食肉処理施設の現地調査について厚生労働省から報告

2. 専門調査会の運営

調査会名	開催回数	調査審議案件	
企画等	1回	<ul style="list-style-type: none"> ・リスクコミュニケーションのあり方に関する勉強会の状況報告 ・食品安全委員会におけるリスクコミュニケーション等の取組 	
添加物	3回	<ul style="list-style-type: none"> ・グルコン酸亜鉛 ・クエン酸三エチル ・ケイ酸カルシウム 	
農薬	幹事会	6回	<ul style="list-style-type: none"> ・メトコナゾール ・スルホキサフロル ・マンデストロビン ・アシュラム ・アセタミプリド ・キンクロラック ・シモキサニル ・セダキサン ・トルプロカルブ ・クロチアニジン ・ピリフルキナゾン ・メソトリオン
	評価第一部会	3回	<ul style="list-style-type: none"> ・トルプロカルブ ・シモキサニル ・メタム
	評価第二部会	3回	<ul style="list-style-type: none"> ・アシュラム ・セダキサン ・フェンメディファム
	評価第三部会	3回	<ul style="list-style-type: none"> ・MCPB ・ブロマシル ・フルチアセットメチル
	評価第四部会	3回	<ul style="list-style-type: none"> ・キンクロラック ・フェノチオカルブ ・デルタメトリン及びトラロメトリン
動物用医薬品	3回	<ul style="list-style-type: none"> ・ジフルベンズロン ・ダイアジノン ・メロキシカム ・使用制限期間が設定されている既承認の動物用ワクチンの添加剤 ・フルメトリン 	
器具・容器包装	2回	<ul style="list-style-type: none"> ・フタル酸ベンジルブチル (BBP) 	
化学物質	幹事会	1回	<ul style="list-style-type: none"> ・水道により供給される水の水質基準の設定 (クロロ酢酸、ジクロロ酢酸、トリクロロ酢酸)
汚染物質	清涼飲料水部会	1回	<ul style="list-style-type: none"> ・水道により供給される水の水質基準の設定 (クロロ酢酸、ジクロロ酢酸、トリクロロ酢酸)
	化学物質部会	1回	<ul style="list-style-type: none"> ・加熱時に生じるアクリルアミド

微生物・ウイルス (薬剤耐性菌WGを 除く。)	1回	・クドア属粘液胞子虫
プリオン	1回	・牛海綿状脳症 (BSE) 対策におけるゼラチン等に係る規制の見直し ・牛肉骨粉等の養魚用飼料としての利用
遺伝子組換え食品等	2回	・除草剤グリホサート耐性セイヨウナタネDP-073496-4 (食品・飼料) ・CPR株を利用して生産されたL-シトルリン ・AHD株を利用して生産されたL-ヒドロキシプロリン ・ATC1562株を利用して生産された25-ヒドロキシコレカルシフェロール ・チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性ダイズ81419系統 (食品・飼料)
新開発食品	2回	・朝食プロバイオティクスヨーグルト BifiX ・キシリトール オーラテクトガム<クリアミント><スペアミント> ・キリン 午後の紅茶 ヘルシーストレート ・レア スウィート
肥料・飼料等 (薬剤耐性菌WGを 除く。)	3回	・L-カルニチン ・セフトオフル ・セフトオフルを有効成分とする牛の注射剤 (エクセーデC) ・セフトオフルを有効成分とする豚の注射剤 (エクセーデS) ・塩酸セフトオフルを有効成分とする牛及び豚の注射剤 (エクセネルRTU) ・スピラマイシン
薬剤耐性菌WG (肥料・飼料等/微生物・ウイルス合同)	2回	・牛及び豚に使用するセフトオフル製剤に係る薬剤耐性菌
高度にジアシルグリセロールを含む食品に関するWG	1回	・高濃度にジアシルグリセロールを含む食品の安全性

3. 意見交換会の開催等

(1) 食品を科学する—リスクアナリシス（分析）講座—

第1回(7月3日(木))「相手を知ってやっつけよう～主な細菌性食中毒の特徴と対策～」

(熊谷委員長)

第2回(7月31日(木))「誰もが食べている化学物質～食品の加工貯蔵中の化学変化の安全性～」

(村田委員)

第3回(9月4日(木))「冷蔵庫に入れば大丈夫?～食品の保存を理解する～」

(石井委員)

(2) リスクコミュニケーションのあり方に関する勉強会

回数	開催日	議 事
第3回	8月1日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・第11回企画等専門調査会における意見紹介 ・勉強会メンバーによる発表 ・意見交換
第4回	9月24日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会メンバーによる発表 ・意見交換

(3) 意見交換会等（全9回、うち委員2回）

開催日	開催地	意見交換会名	共催団体
7/25	大阪府	食品安全委員会 in 堺市 地域の指導者を対象としたフォーラム ～学校給食における食中毒対策を考えよう～	堺市
7/30	鹿児島県	食品安全委員会 in 鹿児島県 食品のリスクを考えるフォーラム ～食品添加物について知ろう 考えよう!～	鹿児島県 NPO法人鹿児島県 地域女性団体連絡 協議会
8/18	兵庫県	食品安全委員会 in 兵庫県 地域の指導者を対象としたフォーラム～食中毒について考えよう～	兵庫県
8/22	愛知県	食品安全委員会 in 豊橋市 地域の指導者を対象としたフォーラム～もっと知りたい!食中毒のこと～	豊橋市
8/25	京都府	平成26年度食の安心・安全フォーラム「食品中の放射性物質に関する現状と課題～正確な理解のために～」	消費者庁 厚生労働省 農林水産省 京都府 京都市

9/4	群馬県	食品安全委員会 in 群馬県 地域の指導者を対象としたフォーラム～校長先生のための農薬の安全性についての学習会～ ※三森委員	群馬県
9/5	栃木県	ジュニア食品安全ゼミナール(栃木県宇都宮市) ※熊谷委員長	宇都宮市
9/10	和歌山県	食品安全委員会 in 和歌山県 食品のリスクを考えるフォーラム ～ 食中毒について学ぼう～	和歌山県 和歌山県くらしの研究会
9/16	東京都	食品に関するリスクコミュニケーション ―知ろう、考えよう、農薬のこと―	消費者庁 厚生労働省 農林水産省 環境省

(4) 講師派遣 (全13回、うち委員6回)

開催日	開催地	講演会名	依頼元
7/1	熊本県	平成26年度ジュニア食品安全ゼミナール	熊本県
7/12	新潟県	にいがた食の安全・安心を考える講演会 (新発田会場)	新潟県生活協同組合連合会
7/23	山梨県	平成26年度第1回食の安全・安心を語る会	山梨県
8/1	東京都	平成26年度農業政策短期特別研修	政策研究大学院大学
8/4	富山県	食品安全フォーラムinとやま ～比べてみよう!「効果」と「リスク」～ ※山添委員	富山県
8/25	愛知県	食品衛生月間特別講演会 ※村田委員	岡崎市
9/5	青森県	食の安全・安心に関するリスクコミュニケーション ※石井委員	青森県
9/10	北海道	第157回日本獣医学会学術集会における微生物分科会シンポジウム	日本獣医学会
9/13	東京都	食の安全学―食品の安全を担保し健康被害を防ぐには― ※佐藤委員	早稲田大学エクステンションセンター
9/16	徳島県	徳島県「ジュニア食品安全ゼミナール」	徳島県

9/19	茨城県	フォーラム2014 衛生薬学・環境トキシコロジー ※佐藤委員	日本薬学会
9/25	東京都	第41回年次大会シンポジウム ※熊谷委員長	日本防菌防黴学会
9/25	栃木県	平成26年度「動物用医薬品と食品の安全性」に係るセミナー	栃木県